

報道機関各位
(府・市・経済 同時)

令和8年6月10日
西陣くらしの美術館富田屋

～ 伝統文化の継承と DX による新たなおもてなし ～

西陣くらしの美術館 富田屋が AI ロボットと多言語音声ガイドシステムを導入

「okAImi bot(おかみボット)デモンストレーション&井手亜里・京都大学名誉教授による解説」

《令和8年6月17日(水)13:00～開催》

西陣くらしの美術館 富田屋では、文化財施設における新たな来館者サービスとして、AI ロボットおよび多言語音声ガイドシステムを導入しました。

富田屋は国の登録有形文化財指定の京町家であり、京都の伝統的な暮らしや西陣の歴史・文化を伝える文化施設として国内外から多くの来館者を迎えています。特に近年は訪日外国人観光客が増加しており、多言語での案内ニーズの高まりへの対応が求められています。



■富田屋外観
<国登録有形文化財（建造物）
・京都市重要景観建造物>

■多言語案内ニーズに対応。AI ロボット—okAImi bot（おかみボット）—とは

【ポイント①】6言語対応

今回導入したAI ロボットは、日本語・英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語の6言語に対応しています。

【ポイント②】AI を使った対話型

来館者は母国語を用いた自然な会話で質問することができ、京町家建築の特徴や京都の文化・しきたり、西陣の歴史、館内展示、文化体験プログラムなどについて、AI が分かりやすく案内します。

【ポイント③】専門知識をもとに構築したナレッジベースを使用

AI の回答は、富田屋が保有する資料や専門知識をもとに構築したナレッジベースから生成されます。ナレッジベースには、施設が公式に認めた正確な情報のみを登録しており、文化財施設として信頼性の高い情報提供を実現しています。

【ポイント④】富田屋 13 代当主のクローン音声をご挨拶

また、来館者を最初に迎える挨拶には、富田屋当主の声を多言語クローニングした音声を採用し、世界中の来館者へ親しみやすく案内を行います。

PRESS RELEASE

【ポイント⑤】見学や多言語音声ガイドアプリの案内も AI ロボットが担当

さらに館内には、多言語対応の音声ガイドアプリを整備しました。京町家特有の意匠や建築様式、代々受け継がれてきた調度品、季節ごとの設えなど、館内の見どころを来館者自身のスマートフォンで好きなタイミングに解説を聞くことができます。

AI ロボットは音声ガイドの利用支援も担っています。来館者を迎えると、アプリのダウンロード方法や利用手順を多言語動画で分かりやすく案内し、ロボットとの対話だけで音声ガイド利用の準備を完了することができます。これにより、スタッフによる個別説明の負担を軽減しながら、来館者の利便性向上を実現しています。

「okAImi bot(おかみボット)デモンストレーション&井手亜里・京都大学名誉教授による解説」開催概要

■日 時：令和8年6月17日（水）13：00～14：30

■場 所：西陣くらしの美術館 富田屋<国登録有形文化財（建造物） 京都市重要景観建造物>
〒602-8226 京都府京都市上京区石薬師町 697 <https://tondaya.co.jp/>

■登壇者：田中 峰子（富田屋 13 代目当主）
井手 亜里 氏（京都大学名誉教授）

※報道機関のみなさまへ

本取組みは、文化財施設における DX の実践事例であると同時に、多言語案内の充実、訪日外国人観光客へのサービス向上を目指すものです。伝統文化と最先端技術を融合させることで、京都・西陣の魅力をより深く、より分かりやすく国内外へ発信してまいります。

下記のとおりデモンストレーションを実施しますので、ぜひ当日のご取材を賜りますようお願い申し上げます。本取組みを広く知っていただく機会となれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



【本件に関する問い合わせ先】

西陣くらしの美術館 富田屋 担当：（問い合わせ対応される方の氏名）

TEL 075-432-6701 FAX 075-432-6702 Mail info@tondaya.co.jp